

内日地区まちづくり協議会だより

ホームページ <http://utsui-machikyo.jimdo.com/>

令和元年10月21日 広報 第15号
発行者：内日地区まちづくり協議会
事務局：内日公民館内
☎090-9067-7944
メールアドレス：utsuimk01@helen.ocn.ne.jp

まちづくり計画策定について

まちづくり協議会の活動も5年目、下関市のまちづくりがより良く進むために、それぞれの地区でまちづくり計画書を作る事になりました。私達の内日地区でも10年後を見据えて、どのような地区であってほしいか、考え直す機会となりました。協議会代議員から策定委員会を組んで、話し合いを始めたところです。活力があり、1人ひとりが安心して暮らせる町になるよう、しっかり話をしていきたいと思っています。まちづくり協議会は、地域のみなさんのものです。共に歩んでいきましょう。



内日地区の農業・農村振興について『現状と課題を探る』

農業を取り巻く環境は年々厳しさを増しています。当内日地区においては、高齢化が進み、人口減少、後継者不足が顕著にみられる中、将来どうすれば内日の基幹産業である農業を守り、振興を図れるかが最大の課題となっています。

経営的に考えれば個人営農は難しく、大規模営農（法人組織の営農）に転換せざるを得ない状況であり、そのため現在土地改良区と自治連合会が手を組み“オール内日”で今後の農業を守り、農村振興を図る為、現在前向きな話し合いが行われています。

全地区の自治会長及び内日土地改良区の運営委員が参加し今まで2回の会議が開催され、真剣な討議、議論が交わされました。現在当地区では『基盤整備事業』に取り組んでおり将来農業経営の根幹をなすと思われる大規模営農等を考えた対策を推進中です。地域の農業保守を含めた活性化対策は基盤整備事業のみでは難しいかもしれませんが、対策の一環としての基盤整備事業は必ず必要と思われる、事業完遂に向けて“オール内日”の力を結集して邁進していこうとしているところです。



市長と地域のランチミーティング「わがまち自慢」内日編

ランチは内日工場の
お弁当

7月19日(金)に内日公民館で前田市長が地域の人々とランチを共にしながら、地域の特色や課題などを語り合う会が開かれました。

“実り豊かな自然があり、心豊かな子供達がいるまち『内日』”をテーマに、下田自治連合会長を

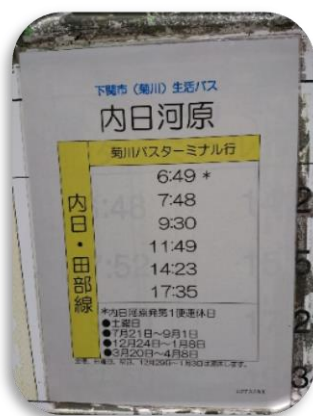


はじめ、藤岡まち協会会長など参加者10名からは、それぞれの立場から様々な意見が出されました。

今年の農作物の生育状況、内日の農業従事人口減少、鳥獣被害、保育環境や学校統廃合の問題について大きな課題として話題に取り上げられました。

今回のランチミーティングを経て、前田市長に直接内日地域の強みや課題を理解してもらえたことは、今後のまちづくりにおいても大きな支えとなることでしょう。

内日の生活福祉バスへのアンケート調査 行われる



かねてより内日の生活福祉バスの利用が不便で、改善策を要望し陳情をかさねてまいりました。本年度は、3年に1度の公共交通の路線・便数・時刻等々の見直しの年に当たります。4月以降、市との交渉をおこなう中で、都市整備部交通課より内日地区の皆様の要望をアンケートにより集計してみてもどうかとの提案があり、この度、内日地区自治連合会・内日地区まちづくり協議会の連名で5町～9町の各戸別にアンケート調査をおこない9月30日に回収しており現在集計中です。現在、県道を運行しているのみですので、中道(善朱庵・植田・梅本・稲野・寺秋)の運行希望や、河原までの運行を内日支所・老人憩いの家までの延長希望の有無を調査するアンケートです。

集計をまとめた時点で、都市整備部交通課へ陳情書として提出したいと思えます。

あなたは大丈夫ですか？

『悪質訪問買取詐欺』

暮らしの安全と教育部会有志が、9月6日(金)、内日地区敬老会で寸劇を披露し、詐欺被害防止を呼びかけました。今回は自宅に1本の不用品買取の電話がかかってくるところから、実際に訪問してきた悪質業者に大切なアクセサリをだまし取られそうになるという事例でした。大きな指輪とネックレスを身につけた被害者役の竹原さんのユーモラスな演技に会場は爆笑の連続。でも笑ってばかりはいられません。よくある事例なので注意してくださいね。次回の寸劇披露は春頃の予定です。



内日小コミュニティ・スクール企画

大募集！「サマースクール」の赤ペン先生をしてみませんか。

内日小学校では、夏休みに算数科の補修学習を行い、子供達のさらなる学力向上を図ります。名付けて「サマースクール」。主に1学期に学習した内容のプリントに取り組み、きめ細やかな個別指導を展開します。今年度から、8月後半に実施し、2学期からの学校生活や学習の準備にもあてたいと思います。

そこで、保護者・地域の方・学校運営委員会の皆様の中で、プリントの○つけなら、手伝ってもよいと思われる方は是非ご協力をお願い致します。



上記内容で小学校からの呼びかけにより、上記関係者を含む、たくさんの有志の方に参加いただきました。

赤ペン先生も今年度で3回目になり、8月26日(月)・27日(火)、内日小学校児童の希望者を対象に実施され、参加児童11名(2年生～6年生)の真剣な学習と赤ペン先生の学習支援により二日間、盛り上がりしました。

なお、今回はすでにご案内のとおり「市報しものせき」10月号で大々的に紹介されました。それも「内日小サマースクール」が表紙1面を飾る大サプライズでした。

これからも学校、家庭と地域の連携を大切に、たくさんの地域の方の学校行事への参加をお願い致します。

内日校区学校運営協議会 コーディネーター 渡邊 輝忠

内日のできごと

内日小学校放課後子供教室『スマイル』 夏休み教室

7月31日(水) 料理教室 ◆ホットドッグと簡単デザート 夏の食事の話◆



【内日公民館にて】

今年のスマイル小学生料理教室。メニューは、腸詰めウインナーのホットドッグ・かぼちゃプリンでした。挽き肉をこねて絞りだし袋に入れ、羊の腸に詰めていき、くるくるっとねじります。茹でて炒めて野菜と一緒にパンに挟んで食べました。みんなの好きなウインナーがどうやって作られているか知ってほしくて企画しました。今回は、田部高校の総合生活科より3名の女子生徒にサポートしていただき、おいしいウインナーが出来ました。少しだけ食品添加物の勉強もしました。

8月21日(水) 工作教室 ◆竹の壁掛けとくるくる鳴き蝉作り◆

内日公民館3階講堂で、子供16名と大人9名が参加して、竹(孟宗竹)、焼杉、貝殻等々を使って“ふくろうの壁掛け飾り”、竹(真竹)、紙、ハリス等々を使ってミーミーと蝉の鳴き声をだす“くるくる鳴き蝉”を作りました。

子供たちは色々な種類の二枚貝・巻き貝を使って“ふくろうの壁掛け飾り”を作りました。個性豊かな作品として出来上がりました。日頃何十種類もの貝殻に触れる事のない子供達にとって色々な形や色の貝の発見は貴重な体験だったと思います。

“くるくる鳴き蝉”作りは、共鳴と振動を利用したオモチャですが子供と大人の共同作業でした。オス蝉になり鳴く子もいればメス蝉になり鳴かない子もいましたが…最後には皆オス蝉になって鳴いてくれました。大盛況！！



お知らせ

1. 秋のいもほり体験イベント開催します♪

6月に植えたさつまいもの苗がすくすくと育って収穫の時期を迎えました。竹村さん家の畑でいもほりをしますので、内日にお住いの子どもたちはぜひお友達やご家族を誘ってご参加ください。参加費は無料です。オレンジ色の旗を目印にみんな集まれ！！

日時：10月26日(土) 午後2時から3時30分まで

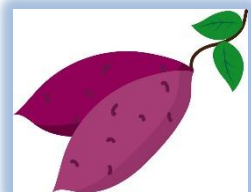
場所：下関市大字植田 1232 竹村さん家の畑

※参加希望の方は、こちらまでお申し込みください

(少雨決行)



まち協事務局 090-9067-7944



2. 令和元年度まちづくり研修会を開催します♪

11月23日(土)内日公民館にて13時30分からと18時からの2回上演で、まちづくり協議会の研修会として映画鑑賞会を行います。題名は『奇跡の小学校の物語』です。廃校宣告を受けた小学校が、校長先生のアイディアや地元の人々の力で魅力ある学校に作り替え、存続していく、実話にもとづいたドキュメンタリー映画です。

地区の皆様、ぜひ鑑賞してください。【鑑賞は無料です】

まだまだ

3. 500mlペットボトルを集めています

今年で4年目となるペットボトルツリー製作は内日地区の冬の名物となりつつあります。製作作業も含め、今年も皆様のご協力をよろしくお願いいたします。

※11月10日頃まで旧内日ライスセンター右奥に収集場所を設置しています



11月2日・3日は内日地区文化祭・スポーツ大会です! みなさんで盛り上げましょう!!



内日にできた新しい事業所をシリーズで紹介していきます!
～内日の事業所を応援しよう～

FILE No7

さんいんファーム

お店情報	所在地	下関市大字内日下925
	電話番号	080-2929-0125
	FAX 番号	083-251-2526
	E-mail	Info@agri-plant.com
	ホームページ	http://agri-plant.com
	営業日・時間	営業時間 10時～15時・定休日(火)
	従事者数	8人
業種・営業内容		作物の水耕栽培(観光農園)
イベント・キャンペーン情報		いちご狩り◆2月20日頃～6月10日頃まで ミニトマト狩り◆7月20日頃～10月10日頃まで
ひとこと		『さんいんファーム』という名前は英語の、sun(さん) in(いん)の響きから内日をイメージして付けました。 内日の中山間での環境を活かして、近代化農業を拡大し、まちを活性化させたいという思いで、観光農園も始めました。人が滞在する内日をめざして今後も新しい取り組みに挑戦していきます。



『さんいんファーム』は福永彰代表が経営するグループ会社のうちのひとつで、主にいちごとミニトマトの収穫体験ができる観光農園部門です。内日のハウスでは、他にもレタスやサンチェなどの葉物野菜が栽培され都市部に流通されています。

儲からないと言われる農業を、思考錯誤を重ねながら安定供給することで実績を積み、栽培面積を拡大してこられた福永代表。地区外から入ってこられたからこそ、新しい目線で次世代にも引き継げる農業の可能性を体現しておられ、地区内外から注目される存在です。

観光農園が開園シーズンを迎えたら、ぜひ収穫体験に行ってみてください。



※詳細は各事業所まで直接お問い合わせください。